

板金製品加工関連（作業風景）

1 プログラミング



図面を見て機械で製品をつくる為のプログラムをつくっていく作業です（CAD、CAM）。板金加工の司令塔の役割で最も重要な部分とも言えます。

2 ブランク工程



金属の板を切断する機械です。材料をセットしてプログラムを読み込むだけで自動で動きます。レーザー光線での切断や金型を用いて加工を行い、色んな形状に切断していきます。

3 曲げ



機械で切断し色々な形状になった金属板を立体的に折り曲げていきます。曲げる方向や数値に注意しながら作業を行います。

4 溶接組立



折り曲げた物や、その他の金属部品を溶接して組み合わせていき、一つの製品にしていきます。

5 検査



寸法や形状、キズ、金属の種類など図面通りにできているか、検査を行います。

6 後処理



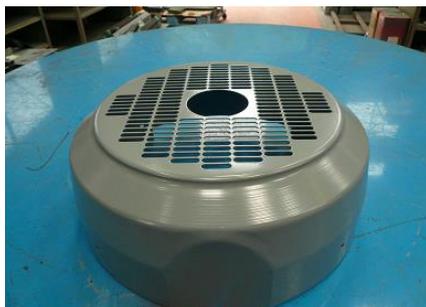
検査で合格した製品は後処理で塗装や、表面の油などをふき取り、梱包して完成となります。



7 完成品



↑ コンビニ等のおにぎりを作る機械のお米を投入する部分



↑ 電気を作る発電所や、色々な工場の動力源となるモーターカバー

日々、いろんな製品が作られ、出荷されていきます。部品毎の製品なので、一見何かわかりませんが、日常生活の中で欠かせないモノになっていきます。